

B型肝炎ワクチンが受けられない人



37.5℃以上の発熱がある人。

重い急性の病気にかかっている人。

過去にB型肝炎ワクチンを接種して、アナフィラキシー*を起こしたことがある人。

医師が予防接種を行うことが不相当だと判断した場合。

このような場合は受けられません。



*アナフィラキシー

- ・全身性のアレルギー反応で、通常、接種後約30分以内に起こることが多いです。
- ・汗がたくさん出る、顔が急に腫れる、全身にひどいじんましんが出る、はきけ、嘔吐、息が苦しいなどの症状に続きショック状態になるような、激しい全身反応です。

B型肝炎ワクチンを受けた後に注意すること



- 接種当日は、激しい運動は避けて、接種部位を清潔に保ちましょう。
- 接種当日は入浴しても差し支えありませんが、接種部位はこすらないようにしましょう。
- 注射後に接種部位が赤く腫れたり、痛んだりすることがありますが、通常2～3日で治ります。もし、高熱やけいれんなどの異常反応や、体調の変化があれば、すみやかに医師の診察を受けてください。
- まれに30分以内に急な副反応が起こることがありますので、接種医療機関でお待ちいただくか、医師とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。
- 同じ部位に繰り返しての接種は避けましょう。

その他、何かご心配なことがありましたら、ご相談ください。

meiji

Meiji Seika ファルマ株式会社

kmb

KMバイオロジクス株式会社

BK000303©
(SW)
作成：2021.6
05M-22Y

知っておきたい、 B型肝炎とその予防

B型肝炎とはどんな病気ですか？

- B型肝炎ウイルスの感染による肝臓の病気です。
- 肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれるほどがまん強い
ため、症状が出ないことが多く、血液検査で初めて感染に気づくことが多いのです。
- B型肝炎に子どもが感染すると急性肝炎を起こしたり、ウイルスがすみついたキャリアになりやすいことが分かっています¹⁾。



1) 国立感染症研究所. B型肝炎ワクチンに関するファクトシート (平成22年7月7日版). 厚生労働省, 2010.

B型肝炎ウイルスに感染している人(キャリア)はどれくらいいるのですか？

- 日本では、130～150万人がキャリアだといわれています²⁾。
感染に気づいていない人や予防できることを知らずに感染してしまった人が多いのが実情です。



【キャリアとは？】

いったん感染した後、ウイルスを体内に長い間持ちながら、症状が現れない状態の人のことです。

2) 一般社団法人日本肝臓学会 (https://www.jsh.or.jp/citizens/hbv/hepatitis_b/) アクセス2021年6月.

監修 済生会横浜市東部病院 小児肝臓消化器科 藤澤 知雄 先生

B型肝炎はどうやって感染するのですか？

- 大きく分けてキャリアのお母さんから分娩時に赤ちゃんに感染する「母子感染(垂直感染)」と、それ以外の周囲の人との接触で感染する「水平感染」の2つの場合があります。B型肝炎ウイルスは感染力が強く、血液だけでなく体液などからもまれに感染することがあります。



子どもとB型肝炎について教えてください。

- 早めに予防することが大切です。

お父さんやお母さんだけでなく、みんなから可愛がられる機会の多い赤ちゃん。分娩時の母子感染以外にも、周囲との接触や集団生活の場であつてしまうことも報告されています³⁾。

ウイルスに感染する前に早めに予防することが大切です。

3) Komatsu H, et al. Hepatol Res 2009; 39(6): 569-576.

- 子どもは、B型肝炎ウイルスに感染するとキャリアになりやすいのです。

乳幼児は大人に比べ、感染しても自然に治りにくいので、キャリアになりやすく、大きくなった後に慢性肝炎を起こし、肝硬変や肝がんを発症する可能性があります¹⁾。

1) 国立感染症研究所. B型肝炎ワクチンに関するファクトシート(平成22年7月7日版). 厚生労働省, 2010.

- 子どもは、B型肝炎ワクチンで強い免疫が獲得できます。

乳幼児にB型肝炎ワクチンを接種すると、強い免疫が獲得できることが分かっています⁴⁾。

4) 矢野右人. 基礎と臨床 1987; 21(6): 2681-2690. (承認時評価資料)



B型肝炎ワクチンの定期接種について教えてください。

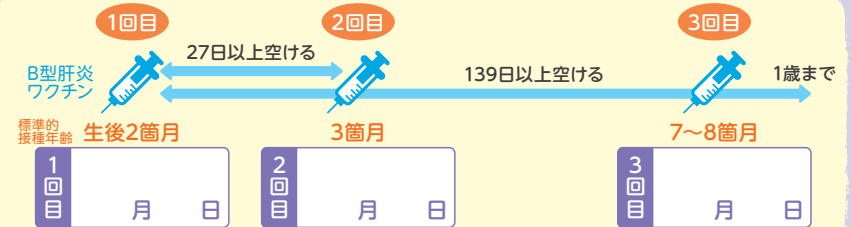
- B型肝炎ワクチンは、2016年10月1日から定期接種になりました。定期接種の対象者は2016年4月1日以降に生まれた1歳未満の赤ちゃんに限ります。1歳になるまでに3回の接種が必要ですが、定期接種の対象者以外の方も3回接種することが大切です。

B型肝炎ワクチンの接種スケジュールについて

定期接種の場合

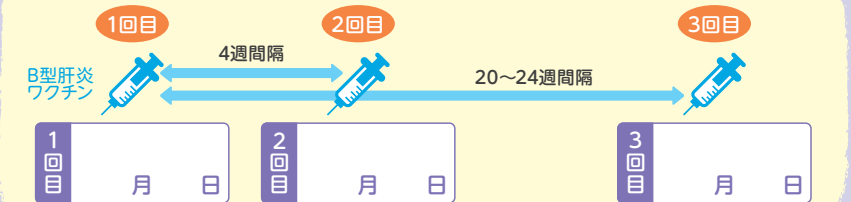
対象者 2016年4月1日以降に生まれた1歳未満の方が対象です。

接種回数は3回です。生後2箇月からの接種が勧められています。1回目の接種から27日以上の間隔を空けて2回目を接種し、さらに1回目から139日以上を空けて3回目を接種します。



任意接種の場合

接種回数は3回です。1回目と2回目は4週間隔(4週後の同じ曜日)、3回目は、1回目の接種から20~24週後に接種します。



母子感染予防の場合

対象者 HBs抗原陽性の母親から生まれた方が対象です。

接種回数は3回です。生後12時間以内を目安に抗HBs人免疫グロブリン(HBIG)とB型肝炎ワクチンを接種します。1回目と2回目は1箇月間隔、3回目は1回目の接種から6箇月後に接種します。

